



障がい者雇用で働く倉さん。表情も明るくデキパキと搬入作業を行なう

「実際の現場作業とアビリンピック種目の競技内容は異なる部分が多いのが実情ですが、それも応用すれば現場で活かすこともできます。まだ手探りですが、今後はもっとアビリンピックに力を入れていきたい。良い成績が収められるようになったら、全国ビルクリーニング協会の、障がいのあるなしに関係ない技能競技会にも挑戦したいですね」と言います。

「ひとつ注文があるとすれば、アビリンピック自体がもう少しPRされるといいですね。より広く知ってもらえることで、出場者のやりがいにもつながりますから」

**現場と競技は違っても  
応用して活かすこともできる！**

柴田さんは大会についてこう話します。

「やはり目標があるのとないのでは、やる気に差が出ますからね。大会への出場や入賞経験は自信にもつながります。これまで、企業としてアビリンピックに参加したことはありませんでしたが、特別支援学校での経験を踏まえ、仕事に対するモチベーションを上げるためにも、今年から企業として参加することにしました」

業務と競技との関係については、

「実際の現場作業とアビリンピック種目の競技内容は異なる部分が多いのが実情ですが、それも応用すれば現場で活かすこともできます。まだ手探りですが、今後はもっとアビリンピックに力を入れていきたい。良い成績が収められるようになったら、全国ビルクリーニング協会の、障がいのあるなしに関係ない技能競技会にも挑戦したいですね」と言います。



「ぼくらのうち」(部分)有賀宣美  
詳細は裏面>>

最後に、障がい者雇用の今後の展望についても伺ってみました。

「自らが研修を受けて感じたことですが、ジョブコーチの数を増やして障がい者をつかり理解し、サポートできる環境をつくるのが大切だと思います」

「全企業にジョブコーチを置くことは可能ですが、もちろんそれぞれの企業内にジョブコーチがいれば良いと思いますが、社員数が少ない企業では難しい場合もあります。そこで、例えば私たちの業界で言えば、ビルメンテナンス協会に何名かのジョブコーチを在籍させるのもひとつの方法だと思います。清掃関連の職種で雇用した障がい者にミスマッチが出そうな場合は、協会からジョブコーチが出向き臨機応変に支援するわけです。今後は、協会に入っていない企業でも参加できる、障害者雇用のセミナーや勉強会などを積極的に開催していきたいですね」

アビリンピックで障がい者のやる気を高め、協会ジョブコーチが環境を整備する。柴田さんの視線は企業の枠を越え、業界・社会全体へと向いています。

## ジョブコーチの増員で より強力なサポート体制を



チームワークに障がいの有無は関係ない

## 今月の Leading company 障がい者雇用の先進企業紹介



地域の障がい者雇用の取組みにも積極的に参加する柴田さん

「清掃の仕事はチームですることが多いのですが、そこで大切になってくるのがチームワーク。そのチームワークをうまく保てるかどうかは、障がいのあるなしは関係ないと思っています」

こう話すのは、ゼネラルマネージャーの柴田さん。

「ただチームによって作業形態や構成する年齢層が違いますから、障がいのある方の個性に考慮した配属は、定着雇用のためにも必要だと思っています」

**障がい者も特別視せず  
全員が仲間というスタンス**

岐阜市に本社を構える「サンエス株式会社」が、建物清掃業者として創業したのは昭和34年。それ以来約60年間、ビルメンテナンス業の先駆者として業界をけん引し続けてきました。

同社では障がい者雇用にも積極的。現在も8人が現場で活躍中で、社内では「障がいがあっても特別扱いせず、全員が仲間として働く」というスタンスを崩さないと言います。

## アビリンピックという目標が、成長力を高める

サンエス株式会社 岐阜市 障がい者雇用数8名

柴田さんは、自らもジョブコーチの研修を受けているほか、平成23年・24年の「子ども自立支援トータルサポート事業」就労移行職業教育プログラム研究開発事業に、岐阜県ビルメンテナンス協会の企業メンバーとして参加し、特別支援学校などのビルクリーニング(清掃作業)の教科書・指導書作成に取り組んだ経験も持ちます。また現在も、各務原の他、県内の特別支援学校でビルクリーニング作業の講師を勤められています。

こうした支援を進める中で、出会ったのがアビリンピックのビルクリーニング種目でした。

「技術を習得するとき、目標があるとがんばれますからね。その目標のひとつとして生徒に勧めたのが、アビリンピック出場でした」

**ビルクリーニングの技術を  
特別支援学校の生徒に伝承**



## SCHEDULE スケジュール

### 障がい者雇用 情報交換会

現場ならではの障がい者雇用のアイデアやノウハウを共有します。岐阜県任命「アドバイザー企業」を見学後、発見や悩みを話し合います。新しいひらめきがあるかもしれません！

5/23(火) 13:30~16:00 高山市 株式会社 打江精機

### はたらく障がい者の交流会(ピアサークル)

企業で働く障がい者が、仲間とともに仕事について話しあう交流会。自分らしく働きつづける方法を考えます。

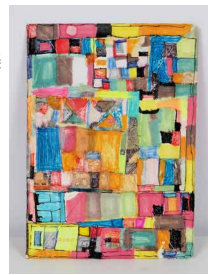
5月 飛騨地域(予定)

※スケジュールは変更になる事があります。

## Art & Handicapped

障がい者の  
アート

「ぼくらのうち」  
有賀宣美



表紙では、毎月障がい者のアートを紹介しています。今月の作者-有賀宣美さんは、養護学校卒業後から創作に夢中に。両親や音楽家との共同展も数多く行い、複数の受賞歴があります。

ぎふ清流文化プラザ gifuseiryu-bunkaplaza

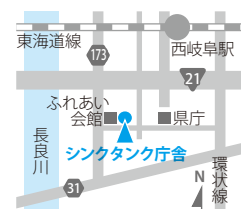
### 文化芸術県民ギャラリー

3人の作者による展覧会 ○△□な日常

開催中~6/7(水)  
9:00~17:00(最終日は15時まで)

問合せ先 公益財団法人 岐阜県教育文化財団  
TEL: 058-233-8164 FAX: 058-233-5811

<http://www.g-kyoubun.or.jp/jimk/plaza/gallery.html>



## 岐阜県障がい者雇用企業支援センター

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎2階

・岐阜駅から-岐阜バスで約20分「ふれあい福寿会館前」下車  
・西岐阜駅から-くるくるバスで約12分「県民ふれあい会館前」下車

利用時間 月~金 9:00~18:00(祝日・年末年始は除く)

岐阜県障がい者雇用企業支援センターは、岐阜県が委託により運営する企業の皆様の障がい者雇用を支援するセンターです。



TEL: 058-215-0582

FAX: 058-215-0583

E-mail center@shougaikigyoshien.jp

URL <http://www.shougaikigyoshien.jp>





## 「アビリンピック」は技能の祭典

「アビリンピック」という言葉を知っていますか。アビリンピックはアビリティ (ABILITY) とオリンピック (OLYMPICS) を合わせた造語で、障がい者技能競技大会とも呼ばれています。私達に馴染みのあるオリンピック、パラリンピックは“スポーツの祭典”ですが、アビリンピックは障がい者を対象とした“技能の祭典”です。オリンピックと同様に4年に一度、国際大会 (国際アビリンピックといいます) が開催されており、国際アビリンピックが開催されない年には全国アビリンピックが開催されます。この全国アビリンピック、国際アビリンピックの出場権を得る最初の大会となるのが、各都道府県で開催される地方アビリンピックです。



2016ぎふアビリンピック表彰式

アビリンピックには満15歳以上で障がい者手帳等により障がいの確認が可能な方なら誰でも参加することができます。特別支援学校や社会福祉施設、一般企業など出場者の所属は様々ですので、互いに競い合うことにより、自分自身の今のレベルを知り、ステップアップを図るきっかけになるのではないかと考えています。また、授賞の喜びは日々の業務遂行への励みにも繋がります。

実際に来場された方からは、「技術を向上させようとする努力を感じた」「簡単なことも障がいによっては難しいことが分かった」等、様々なご意見をいただいています。自分の力を試してみたいと考える障がい者の方や障がい者雇用を進めようと考えている企業の担当者様など、たくさんの方にアビリンピックにご参加いただき、地域社会の責任として、障がい者の自立への一助となるよう大会への認識を深めていただければ幸いです。

種目

### 1 ワード・プロセッサ

マイクロソフトWordで書簡文などを見本どおり作成。入力の手速、正確さと、機能を使いこなせる事がポイントです。



### 2 表計算

マイクロソフトExcelの三大機能である、表計算機能、簡易データベース機能、グラフ作成機能の総合的なスキルを競います。



### 3 ビルクリーニング

模擬オフィスを清掃します。資機材の取り扱い、確実な技術、サービス業としてのマナー、安全配慮などがポイントとなります。

### 4 箱折

化粧箱と梱包緩衝材の組み立て、製品の梱包作業を行います。お客様の気持ちを大事に、見栄えに配慮した作業が求められます。

### 5 オフィスアシスタント

「手紙を出す」手順を競技にしたもので、文書の三つ折、宛名シール貼り、仕分けなど、単純な中に正確な技能が求められます。



### 6 喫茶サービス

模擬店舗で、お客様へのサービスの技術を競います。他の従業員とも連携しながら、一連の業務を正確に、スムーズに行います。

## 競技が社員をそだてる

トヨタグループ株式会社

愛知県では、企業がアビリンピックへの参加に積極的です。トヨタ自動車株式会社の特例子会社トヨタグループ株式会社からも、毎年複数の選手が愛知大会に参加。中でもオフィスアシスタント種目が盛んで、鈴木さんは毎年飛び抜けた成績で金賞を獲得し、全国大会でも銀賞に輝きました。オフィスアシスタント種目は書類発送の封入工程を分解したもので、作業自体は単純ですが、競技となると制限時間や“ズレは2mmまで”などの制約があり簡単ではありません。この種目参加者をまとめる有田さんに、競技と仕事との関係について聞きました。



全国大会オフィスアシスタント銀賞の鈴木さん

### 企業ぐるみの応援が、やる気も一体感も高める

まずは参加者の募集から始まります。社員から自主的に手が上がりますね。実力を100%発揮できるように、練習に必要な機材・時間・課題は会社でしっかりサポートします。グループ本社と名古屋事業所のオフィスの合同練習も行い、技術を教え合います。大会本番でプレッシャーに負けないよう、社内でミニ競技大会も開き選手同士で競いあえる雰囲気と環境を作っています。会場での応援はもとより、ポスターなども作り会社ぐるみで選手を盛り立てます。選手でなくても『次は出場したい』とやる気になるし、一体感もすごく高まります。全国大会では銀賞だった鈴木さんも「次は金賞がとりたい」とやる気をみせてくれています。



参加の意義を話す有田さん

### 練習が仕事の成長につながる

練習は、業務中どうしても空いてしまう時間を有効に使っています。それと、業務に関係ある種目に参加してもらえば、競技で身に付けた技術が業務で活かれます。競技と業務は違うところもたくさんありますが、短い時間とルールの中で競い合っていると、自然と仕事も早く丁寧になっていきます。鈴木も始めは私が教えていたのに、自分で早くなるように工夫するようになって、今じゃ全く敵いませんよ。仕事でも自分で考えるようになってきて、着実に成長を感じます。岐阜の企業様には是非参加をおすすめします。会社が練習や応援を通して一致団結するのを感じられますから。



VOICE

### 金賞受賞者の声

表計算部門 金賞 6回受賞 小川裕太さん



最初に金賞を受賞したときは、到底完璧とは言えず、自信はありませんでした。ですから金賞で名前を呼ばれたときは喜びと驚きが半々くらいでした。それから8年間毎年参加させていただく中で、「今年は〇〇を間違えたから、来年は〇〇をできるようにしよう」と思い、できることが増えていきました。そういう毎年の積み重ねが自信に変わっていき、金賞6回受賞という結果につながっているのかもしれない。競技中に「こんな機能 (関数) があったんだ」と新たな発見もあります。そのような「向上心」、「新たな発見」を毎日の仕事に活かしています。

選手募集

申込受付 平成29年4月3日～平成29年6月16日  
申し込み・お問い合わせ 岐阜県商工労働部労働雇用課 TEL: 058-272-8397 FAX: 058-278-2676  
詳細は(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構ホームページ  
http://www.jeed.or.jp/location/shibu/gifu/2017\_abilin.html

アビリンピック岐阜大会

